

ひまわり通信

SSKS
No.103



コロナ禍の新年!?

代表理事 隅 一 清

先日、町内会から米寿のお祝いと言ってお祝い金をもらいました。本来は来年年なのですが、お祝い事は早いほうが良いとか…。

高齢なので、コロナで亡くならないうちに？と、優しい？気持ちでしょうか？

正月のテレビも、人が集まるのは、ほとんどが中止になっていましたね。

年男が一斉に神社の境内を走りぬける行事も、今年は静かに歩いています。

一時は下火になったコロナも、新しいオミクロン株とかが現れて、二月に入ってから感染者が一気に一日二万人を超えて来ました。幸い今のところ重症患者は少なく、一週間程で治るようです。

会の移送事業の方は、通所先が急に休みになったり、外出を控えたりして、キャンセルが多くなっています。

行事の方も、今年度は二月の新年会と三月の日帰りバスハイクですが、この稿を書いている時点では、まん延防止が延長されるか

否か？といったところです。まん延防止が延長されれば、新年会は中止になります。

例年二月は、新しい年度の予算や、事業計画等を作る作業に追われるのですが…。

今年はずべて思うように捗りません。とりあえず、六月の総会の会場だけは予約しました。

令和三年度は、移送料の収入も予算を下回っています。でも、昨年度は四月に大幅に落ち込んでいたので、数字的には予算通りになりそうです。

世田谷区のほうでは、今年トリップがコロナの影響で減った団体には、昨年と同じトリップで助成金を出すとのことですが、当会はトリップは全然問題なくクリアしています。

今年も、日本財団や、二十四時間テレビ等に車両の応募をしましたが、すべて外れてしまいました。会の車両は、中古車で購入している車が多く、走行距離がすぐに十万キロを超えてしまいます。

因みに、キャラバンは十七万八千キロ以上走っています。走行距離が十万キロを超える

と、何かと整備費用が掛かってきます。部品の交換も多く、結果的に経費が高くなります。現在の移送量で車両八台は少し多いので、今後、車検などで経費が高む時期に一台減らす方向で考えています。

四月からは、運転前後のアルコール検査が義務化されます。十月からはアルコール検知器を用いて行うこと、となっていますので、会でも検知器を購入して対応していく予定です。

私が、車一台から始めた福祉移送事業も、二十七年目を迎えました。安心安全の移送を今年もドライバーの皆様にはお願い致します。



アカシアの豆知識

監事 檉村 兌子

アカシアには「ミモザ」と「ニセアカシア」があり、オーストラリア原産のアカシアと言うと、蜂蜜の種類や街路樹などを思い浮かべる方が多いと思います。ひと口にアカシアと言っても、たくさん種類があり、その数は一〇〇〇種類以上あります。

ミモザと呼ばれるアカシアの、鮮やかな黄色い花は春の訪れをいち早く告げる早春に咲きます。長い冬が終わって咲くきれいな黄色の花が、女性の活躍を願う「国際女性デー」「ミモザの日」の象徴として使われ、オーストラリアでは国花としても古くから愛されています。

ニセアカシアと言う種類は、一方で蜂蜜が有名で、街路樹にも使われているのは、ニセアカシアと言う種類になります。ニセアカシアと言う名前が学術名で、なぜニセと付いたかというところ、アカシアに似ているからとされています。

同じマメ科の樹木ですが、花の開花時期と色も異なります。白い花が咲くのが、「ニセアカシア」になります。

ニセアカシアは別名「ハリエンジュ」と呼ばれ、特に北海道では街路樹に多く使われています。六月頃、北海道の遅い春が訪れると一週間位の短い間に白い花が咲き、もともとニセアカシアの蜜は高級蜂蜜として人気のように甘味があり、花を天ぷらにして食べる習慣もあります。

但し、街路樹に使われているニセアカシアの樹皮には、食用には向いていない毒素も含まれているので、この点がミモザの木とは、

大きく異なります。古代エジプトでは、女神に捧げられた「神の木」として、旧約聖書にも登場するアカシアは、芯材を煎じたエキスは、元気の素としても使われてきました。

『ミモザ』

分類：マメ科、アカシア属常緑高木
原産：分布、オーストラリア明治末期に渡米
用途：庭木、公園樹

英、仏などの市場でアカシアをミモザと呼ぶようになり、一般に使われています。



『ニセアカシア』

分類：マメ科、ハリエンジュ属落葉高木
原産：分布、北米明治初期に渡米
用途：庭木、街路樹

白く垂れ下がって咲く、フジに似た花が特徴的。非常に強健で、成長も速く実生(種)により、はびこることあり。

通常、幹や枝に鋭い棘があります。



ひまわり句会

菅野孝夫 選

残照の海に広がる鱗雲

作 田 志津子

立冬や砂糖多めの卵焼

三行の父の手紙や小六月

湯気立ちておじやの上の子持昆布

寄鍋や話し相手の犬と居て

宮 澤 みどり

水澄みて柄杓に揺らぐ墓参り

爽やかや新築工事の木のにほひ

届きたる封書の冷や秋の暮

煮えばなの新米の香や夕暮れて

桜紅葉一枚残る雨の中

大 谷 のり子

無花果を一緒に食べて母とるる

秋の夜のゆつくり止まるオルゴール

木の実落つくらやみ坂といふところ

冬来る息吐ききつて息を吸ひ

午後からの風の尖りや冬の薔薇

亀 井 歌子

さつぱりとシヨートカットに秋彼岸

弟の塔婆に止まる秋蒞

三食と早寝早起き豊の秋

お隣の柿を見上ぐる今日もまた

体幹を鍛ふる体操冬日和

藤 田 勝 美

夕暮の花屋の前の虫の声

鐘の音や萩の花咲く母の里

秋の野の名も知らぬ花揺れ止ます

るのこつち連れて帰りぬハスの旅

シャンソンを口ずさみつつ落葉踏む

羽 山 貴 子

満月に語りたきこと空に言ふ

我が年を数ふる櫛に木の葉髪

川からの風に揺られて枯芒

行事報告

◎十一月日帰りバス旅行

箱根湿生花園 十一月十四日(日)

コロナ禍で、日帰りバス旅行も今年度は、七月の房総のむら以来、二回目の旅行になりました。

晴天に恵まれ、晩秋の箱根路を一路、湿生花園に向かいました。

入口で記念写真を撮ってから入苑。三々五々分かれて園内を見学しました。

苑内からは、有名な仙石原のすすきが原を一望できました。

昼食は、芦ノ湖の湖畔にある、龍宮殿で懐石料理を頂きました。

帰路は、小田原でかまぼこをお土産に買い、渋滞もなくスムーズに野沢に到着しました。

参加者二十九名



◎ドライバー交流会

十一月二十日(土)

三百六十五日、元旦から移送事業に関わっている会のドライバーは現在二十名程いますが、各日時間帯が違うので、事務所まで顔を合わせる機会がありません。

まして持込車両で移送を行っている人は、後日、日報を提出するだけなので。

例年であれば、年に二回交流会を行っていましたが、コロナ禍になり自粛してしまいました。

その間に新しいドライバーも増えたので、コロナが落ち着いているこの時期にと、開催することになりました。

会場は、いつもの学芸大学駅地下の『庄や』でした。

コロナ禍なので、料理も盛り合せではなく、個別で用意して頂きました。

ここでは、いつも宴会の時に八海山の一升瓶を出してくれるのですが、今回もアツという間に空になっていました。

年末年始の安全、安心運転を願って九時過ぎにお開きになりました。

参加者十二名



◎区民ふれあいフェスタ開催!

十一月三十日〜十二月三日

今年も区役所が建替え工事中の為、第二庁舎のロビーでの開催となりました。

会場は狭く、参加団体が多いので、従来は二〜三枚使用していたパネル板も、今年は一枚に限定されてしまい、皆さんの作品が少ししか展示出来ず残念でした。

◎忘年旅行は中止になりました。
 ◎令和四年度新年会は中止になりました。

◎小田原早川のみかん狩り

十二月九日(木)

今年も早川のみかん山に、みかん狩りに行きました。たわわに実った二本のみかんの木は、例年だと三十分位で狩り終わるのですが、今年は人手が少なく、記録係?の私までが、みかんを取るようになりました。

十年以上前からやっていますが、自分のみかんを取るの初めてでした。

昼食は、湯河原のホテルで頂きました。

来年は、若手の参加を期待しています。

参加者十七名



区民ふれあいフェスタ展

行事予定

◎三月日帰りバス旅行

令和三年度最後のバス旅行になります。
 ひたち海浜公園は、三月は水仙、四月はチューリップ、五月はネモフィラ等の花が有名です。
 今回は、水仙エリアを見学してから、那珂湊港にある海鮮市場で、食事や買い物を行います。



・日時 三月二十七日(日)
 ・行程 野沢↪三軒茶屋↪首都高速↪三郷JC↪常磐道↪守谷SA(休憩)↪友部JC↪北関東自動車道↪ひたち海浜公園(水仙見学)↪那珂湊(買物・昼食)↪帰路↪野沢

・費用 九千円(個別移送料、別途千円)

※参加希望者は三月十日までにお申し込み下さい。

◎この案内は、一部の方には「お知らせ」を通じて、ご案内しております。

◎新年度事業計画(前期予定)

○四月日帰りバスハイク

・日時 四月十七日(日)九時発
 ・行先 群馬フラワーパーク(チューリップ見学)
 ・会費 九千円(個別送料千円)

○五月日帰りバスハイク

ありません

○六月通常総会・懇親会

・日時 六月十九日(日)十一時～十五時
 ・会場 スカイキャロット二十六階
 ・会費 三千円



○七月日帰りバスハイク

ありません

○八月暑気払い食事会

・日時 八月六日(土)十一時～
 ・会場 野沢『ときそら』
 ・会費 三千円(飲み物代別)

○九月日帰りバスハイク

ありません



※令和四年度より、担当者高齢化により日帰りバス旅行の回数を減らしています。

※日時、参加費等は、変更になる事があります。詳細は、ひまわり通信、またはお知らせ等で通知致します。

編集後記

コロナ禍で、相変わらずの家飲みが続いています。今の時期、寒いのもかなり影響しています。

外に出るとなると、それなりの身支度も必要になるので、何かと億劫になります。

私は、冬は基本、焼酎のお湯割りしか飲まないで、ガスストーブの上に一日中やかんのお湯が沸いているので、手間がかかりません。

ただ、強いて言えば酒の肴にこだわっています。乾きもの等では間違っても酒は飲みたくないのです。

昔、卒業アルバムの制作で、学生さん達と良く合宿をしたのですが、夕食の前に乾き物でビール等を飲んでから、夕食を食べていました。酒は酒、ご飯はご飯と分けているのですが、私はご飯のおかずを肴にして飲むので、かなり抵抗感がありました。

好きな肴で、好きな酒を、毎日飲めるのが幸せです。
 体調が悪いと、毎朝飲んでいる酒の味が、不味いのですぐにわかりますので…。医者いらずですね!

「ひまわり通信」103号

2022年2月21日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷

住所 世田谷区野沢3-4-18-102

TEL 03-34487-5081

FAX 03-34422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会

世田谷区砧6-26-21 (定価100円)